



平成29年11月30日

とべだより

12月号

横浜市立戸部小学校

「つながり」の中でこそ、人は輝く

学校長 柳澤 潤



西に望む富士山が、すっかり雪化粧しました。戸部小の東にはランドマークタワーが、透き通った空の中で、引き締まって立っています。朝晩の冷え込みが厳しく、校庭の落ち葉も急に増えてきました。

12月は、例年インフルエンザの流行が始まる月。横浜市では、すでに学校での集団感染等が発生しており、今シーズンに学級閉鎖を行った学校は、11校となっているそうです。うがい、手洗いの励行はもちろんのこと、十分な睡眠や健康観察など、各家庭でも留意をお願いします。

早いもので、平成29年も年の瀬を迎えます。地域・保護者の皆様をはじめ、関係者の皆様との様々な出会いとつながりの中で、今日まで充実した教育活動を続けてくることができました。熱心な応援と支援に、心より感謝を申し上げます。

11月2日の「生活・総合」の全国大会の授業公開では、北は北海道から南は九州まで、日本全国から、400名を超える参会者をお迎えし、研究討議を行うことができました。「子どもの生き生きした姿が毎回素晴らしく、戸部小に来るとワクワク感が増し、帰ってからも頑張ろうという気持ちになります」など、励まされる声を多くいただきました。準備や当日の運営、事後の整理など、あらゆるところで多くの方のお力をお借りしました。紙面を借りて、改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

今、率直に感じていることは、「つながり」の中でこそ、人は輝くということです。人と人、人と環境、また、過去と現在、現在と未来など、つながりの中でこそ、自分自身を理解し価値づけることができると考えます。本校の研究で大事にしてきたのも、子ども一人ひとりの「もの、こと、ひと」へのこだわり、つながりです。

11月の学校行事では、13日に市の体育大会がありました。日産スタジアムに、全市の6年生が集まり、演技、競技をしました。特に、6年生全員で踊る「横浜市歌」に合わせた演技は、圧巻です。グラウンドいっぱいには6年生が広がり、スタンドにどよめきが起こります。一体感とつながりを感じる瞬間でした。16日・17日には、個別支援学級の野島宿泊体験学習があり、西区の全校が参加しました。どの子ども自信をもって活動していました。特に夜の集会は、各校の出し物で盛り上がります。9校全員で活動し、他の学校の児童名も覚えるくらい、近隣校と仲良しになりました。また、28日の朝会では、3年生が区の音楽会で披露する歌と合奏を発表しました。発表の後、他学年から感想を聞く時間があり、みんなから拍手をもらって、表情が一段と明るくなりました。この日の発表は、全学年の音楽発表会（とべとベコンサート2017）につながっていきます。

一方、地域での行事では、12日に掃部山プロレスがありました。掃部山公園に特設リングが設置され、児童がリングの上で野毛山ソーランを披露しました。代表児童が、「これからも、まちのためにできることをしっかりとやっていきます」と、元気に宣言をしました。18日には、戸部小学校初代校長の墓前祭がありました。保存会の皆様に支えられ、毎年実施されてきたとのこと。初代岡田台三校長の墓前に、28代校長の私が立つこととなり、時代を越えた不思議な縁を感じる機会となりました。19日には、戸部大通り子ども朝市が行われ、各お店が並び、子どもがアルバイトで立ちました。電車を利用して、昨年続き遠くから参加する子どももいました。

戸部小学校・戸部のまちには、つながりを大事にする活動が溢れています。これからも、学校・地域・家庭は強力なネットワークを作り、それぞれが健やかな成長を支える役割を果たしてまいりたいと思います。皆様、本年も大変お世話になりました。どうぞ、新年を健やかに迎えてください。